

事務事業名		健康診断Web申込システム導入事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:1: 安全安心な暮らしを支えるまちづくり			所属課	保健福祉課	担当	保健予防担当
	施策名	0:1: 健康づくりの推進			課長名	星 育男	担当者名	加藤 麻希
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		1	0:4	0:1	0:2	0:0:3	成人健康診査費	健康増進法
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成31 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在、健康診断の申込については、年度末に世帯調査票を各世帯に配布し、年度初めに取りまとめをしている状況であります。しかしながら、郵送による紙ベースの申込用紙の回収率は60%と低く、その原因として、『毎年同じものを提出する』『面倒くさい』『もっと簡単に申込みできないか』の声が聞こえてまいりました。 また、世帯によっては家族全員が見る前に、特に若い人が目にすることなく返送されてしまうこともあるようで、実際に19~39歳の健診申込の無回答者は899人(43.9%)と約半数おり、健診に無関心あるいは存在を知らない人が多いと考えられます。若い年代から健康に関心を持ってもらい、健診受診により生活習慣病やがんの早期発見につなげることが町民の健康と町の人財を守ることとなり、早急に重点的に取り組む必要のある事業であると考えます。 本事業導入によって、改めて全町民に健診の存在を知ってもらうことと、Web導入により申込の利便性を向上させることで、新規の健診受診者の増加をねらいます。 具体的には、世帯ごとの紙ベースの申込は廃止し、各個人にWeb申込IDを通知します。平成30年度に受診した方については、自動で同項目が申込され受診用紙が発送されます。そのため毎年健診を受けている方には申込にかかる手間が軽減されます。健診日や項目の変更は健診日の2週間前まで24時間可能で、Webまたは電話等で変更できます。新規の受診希望についてのみ申込が必要になりますが、Web環境がない方は電話で申し込むこともできます。</p> <p>2 概算事業費 ○平成31年度 (Web申込導入見積額) 1,871,424円 ○平成32年度以降 900,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標																					
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	特定健康審査受診対象外のヤング健診及び健康審査(がん検診含む)を受診してもらう	➡	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																		
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	19歳以上の町民	➡	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																		
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	Webシステムを利用して多くの方に申し込んでいただき、早期に疾病(がん等)を発見し、治療等に繋げ健康な生活を維持する。	➡	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																		
			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア:健康審査の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ:婦人検診の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア:特定健康審査受診対象外のヤング健診対象者(19~39歳)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ:健康審査(がん検診含む)の対象者(19歳以上)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア:Webシステムを利用して申し込んだ人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ:早期に疾病(がん等)を発見できた数</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	ア:健康審査の実施回数	回	イ:婦人検診の実施回数	回	名称	単位	ア:特定健康審査受診対象外のヤング健診対象者(19~39歳)	人	イ:健康審査(がん検診含む)の対象者(19歳以上)	人	名称	単位	ア:Webシステムを利用して申し込んだ人数	人	イ:早期に疾病(がん等)を発見できた数	人
名称	単位																				
ア:健康審査の実施回数	回																				
イ:婦人検診の実施回数	回																				
名称	単位																				
ア:特定健康審査受診対象外のヤング健診対象者(19~39歳)	人																				
イ:健康審査(がん検診含む)の対象者(19歳以上)	人																				
名称	単位																				
ア:Webシステムを利用して申し込んだ人数	人																				
イ:早期に疾病(がん等)を発見できた数	人																				

(2) 指標・総事業費の推移								
		単位	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値		14	14	14	14	14
		実績値						0
	イ	目標値		7	7	7	7	7
		実績値						0
対象指標	ア	目標値		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値						0
	イ	目標値		9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
		実績値						0
成果指標	ア	目標値		500	500	600	650	550
		実績値						0
	イ	目標値		3	4	4	4	4
		実績値						0

計画		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0	
		県支出金	千円				0	
		地方債	千円				0	
		その他	千円				0	
		一般財源	千円	1,900	900	900	900	900
		事業費計(A)	千円	0	1,900	900	900	900

実績		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町民の健康を守る施策である事から公共が関与するほかないと判断する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	年次計画で町民が健診を受診しやすい環境づくりを行っており、今回、若年層の受診者を増やすには良いタイミングであると判断したため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	H29年度の事業の内のコスト削減分と照らし合わせれば同等の額であり、内容の拡充を考慮した場合には妥当な額であると判断できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	行政の将来的な医療費負担を削減することを目的としており、将来的な視点からすると受益と負担のバランスはとれていると判断できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 30 年 9 月 28 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業